

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日 更新

事務事業名		合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	辻 健一
	施策	22	生涯スポーツの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	毛利 一生
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10780	法令根拠	スポーツ基本法	
終了、開始年度		☒ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	
								コスト削減優先度評価結果	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・合志市民の健康増進、親睦融和を図るための健康マラソン大会。合志市民、合志市在勤者を対象に14部門を設け開催する。予算は特に報償費での大会参加賞及び参加賞代に使う。・旧西合志町で昭和58年、旧合志町で平成7年より開始されており、合併後は第一回大会を合併記念大会として、市民及び在勤者の健康増進と親睦融和を目的に開始された。平成18年度から警察からの道路使用許可取得が厳しい状況にあり、会場をカントリーパークに設定し行った。
【業務の流れ】	・会場の手配、企画立案、広報作業、集計作業、保険の手配、各団体への協力依頼、賞品・会場準備、司会進行、大会運営、後片付け、住民への報告、協力御礼の送付
【主な予算費目】	・報償費、需用費、役務費、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・カントリーパークから来年度も開催場所として要望有。 ・10Kmほどの距離があるコースを設定してほしい。 ・もう少し、暖かくなった時期を検討してほしい。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 申込者776人、当日参加者735人で実施した。(1月10日実施)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) カントリーパークにおいて合志市民を対象に1月に開催する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→		・参加者増に伴う大会賞品購入費、機会借上料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民および市内在勤者(マラソン大会参加者)		→
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・健康増進に関心を持つことができる。・親睦融和を図れる。		→
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・健康や親睦は大会参加者の感想によるしかなく、アンケートにより把握する。 ・平成27年度からスポーツイベント開催事業へ統合し実施する。		全体計画
		～年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
① 活動指標	ア									
	イ									
② 対象指標	ア	人	742	758	790	735	0	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	%	70	70	71	75	0	0	0	0
	イ	%	80	77	75	80	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		185	500	683			
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,240	1,230	1,042	713			
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	1,240	1,415	1,542	1,396	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(B)人件費計	千円	0	1,585	561	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	4	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	108	398	141	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,240	3,000	2,103	1,396	0	0	0

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 他市町村のマラソン大会よりも安い参加費であることや、一般道を使用しないコース設定をしている。ほぼ目標参加者に達することができた。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 市民の健康に対する意識が高まっており、参加者は増えると思われる。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 市内各学校、協賛後援団体の協力、本大会の定着化が進めば向上する。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似するスポーツイベントがあるため、平成27年度からスポーツイベント開催事業へ統合し、本事業は廃止する。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くできることにより発注無駄がなくなり削減に結びつく。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 本大会の趣旨を崩さず移管できるような団体は今のところないが、陸上競技協会へ運営を移管する等の方法を検討する余地はある。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ポスター、チラシ等により募集の周知を行っている。参加者より大人千円、子ども五百円の参加料を公平・公正に徴収している。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 今のところ、この規模の大会を移管できるだけの団体がない。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

多くの参加者があった。さらに広く周知を図り参加者の増加につなげていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☒ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

平成27年度からスポーツイベント開催事業へ統合する。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策